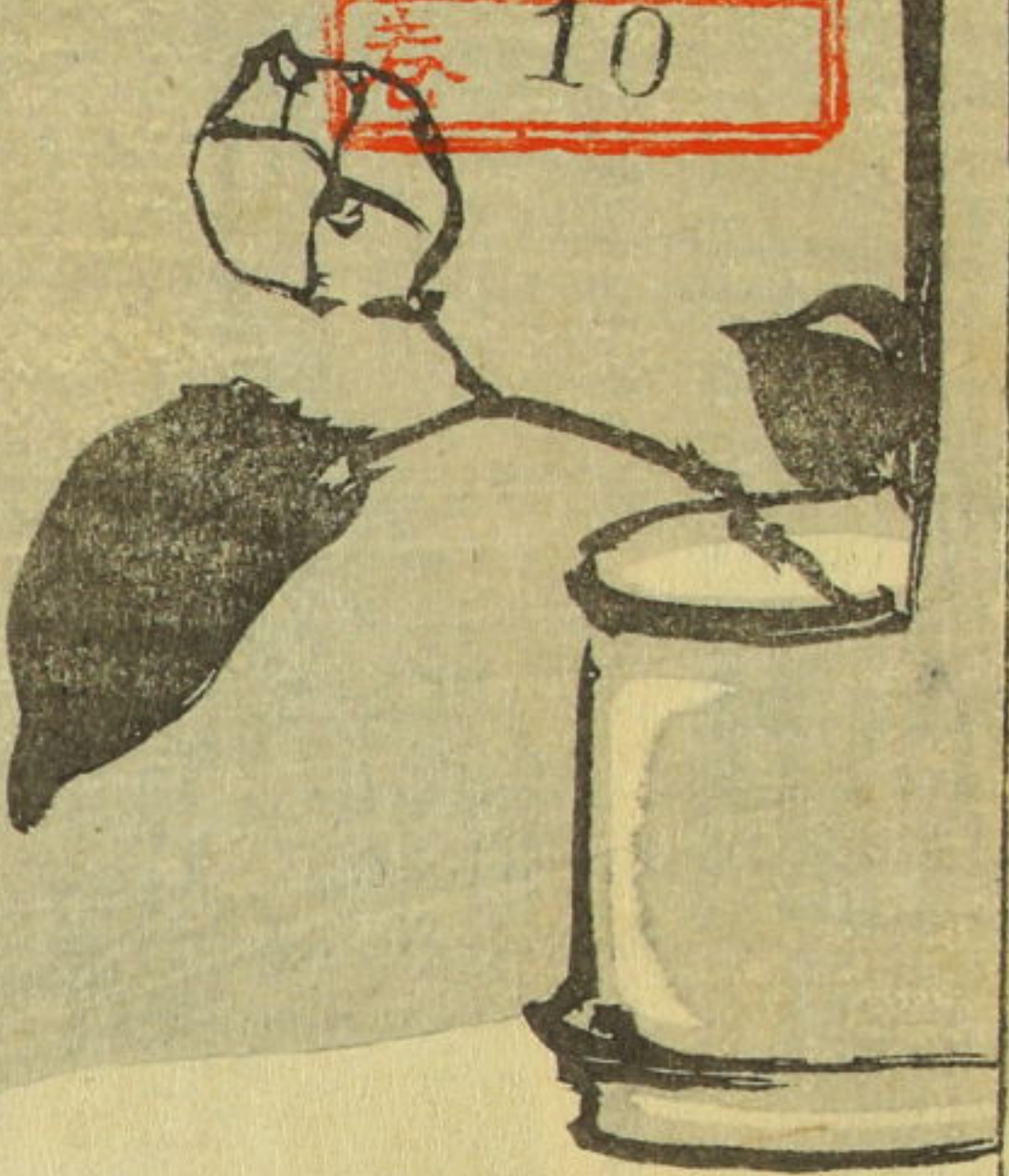


^ 13
3753
10



門 13
號 3753
卷 10

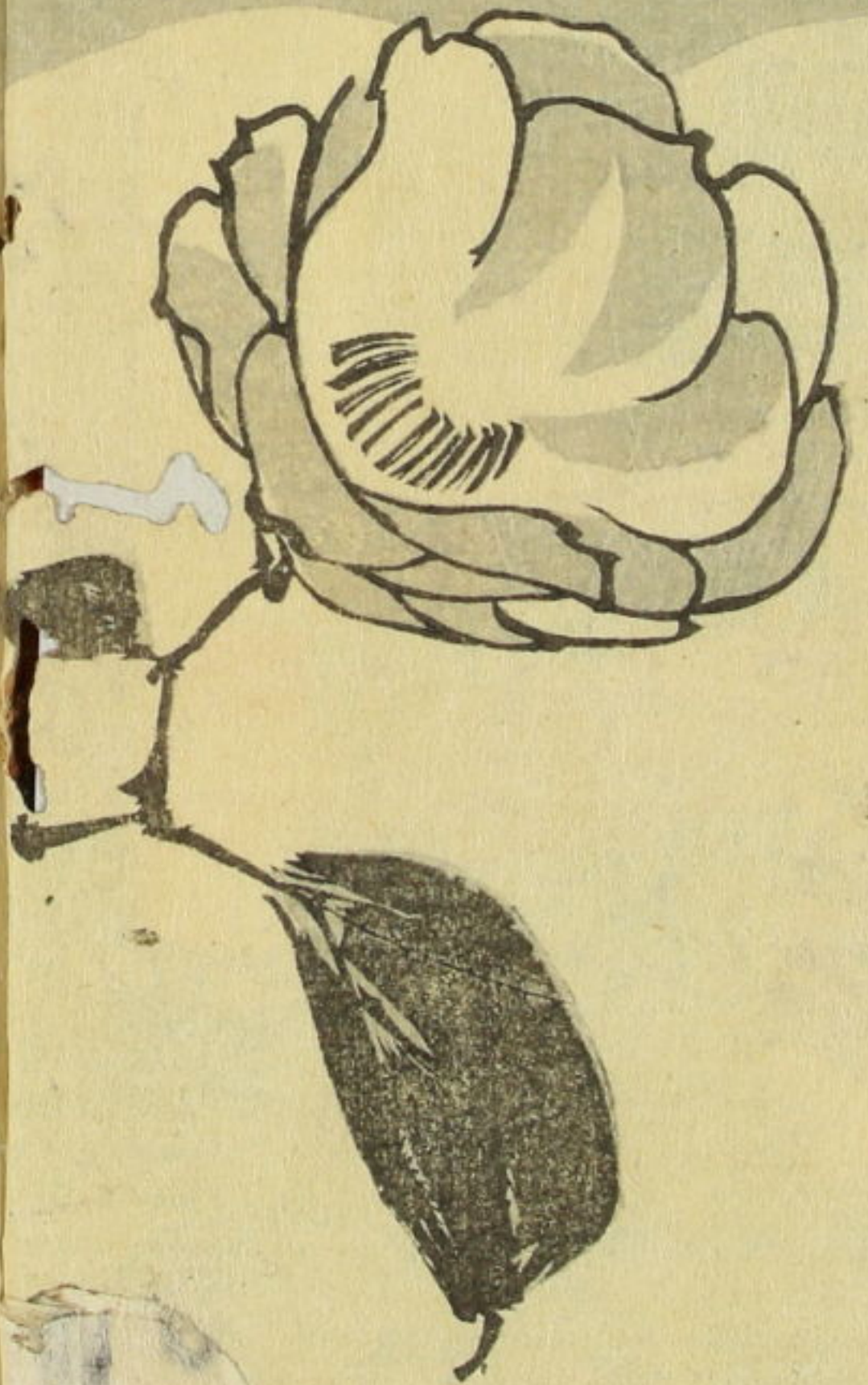


京山翁作
國輝畫

嘉永六年春梓

琴きん琴きん笑か
録上卷

甲寅抄板



自叙

四維賢水許傳を作りて夜晒やう子し下げたりと續ぞく文ぶん献けん通つう考こうおえ
此こ罪つみ水みづ許もと原はら氏しよりも甚こゝろ一ひと晒やう子しのの産うまされども身後しんごのの地ぢ獄ごくのの事こと
あんなやと一大徳いちだくとくふたねけと一首いっしゆのの哥うたを示しせり
うゝあつらひ州しゅうあり州しゅうさしりさるさる根ねありあとの歌うた
うゝあつらひののまろひなりと世よ我われらとよの琴きん声せい美人びじん録りく十じゅう編へんと作つくらぬ

嘉永六年

丑仲春稿本
同七年寅新板

六十五葉
山東菴京山





千咲
弥五郎

星の井
家中

惣次郎妻

佐木家の奥女中ちよ

石部金之丞
姉



惣次郎

鶴亀屋

九郎

大口

悪漢

兵太
経師屋

星の井家中
石部金之丞

盗賊
岡九郎

美人評十

△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは

星の井屋中
千三郎五郎

△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは
△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは
△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは

天の丸弁



△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは
△お母のあやうき家のお女と四廿の母の
ひんまり下世入下男小島さくら
みても
今もち町入の
よれ一つの
あふとをえんは



武士の
おのり
おのり
おのり

町人の
おのり
おのり
おのり

おのり
おのり
おのり
おのり

おのり
おのり
おのり
おのり



おのり
おのり
おのり
おのり

おのり
おのり
おのり
おのり

おのり
おのり
おのり
おのり

千味弥太郎
 千味弥太郎の茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて



茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて

茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて

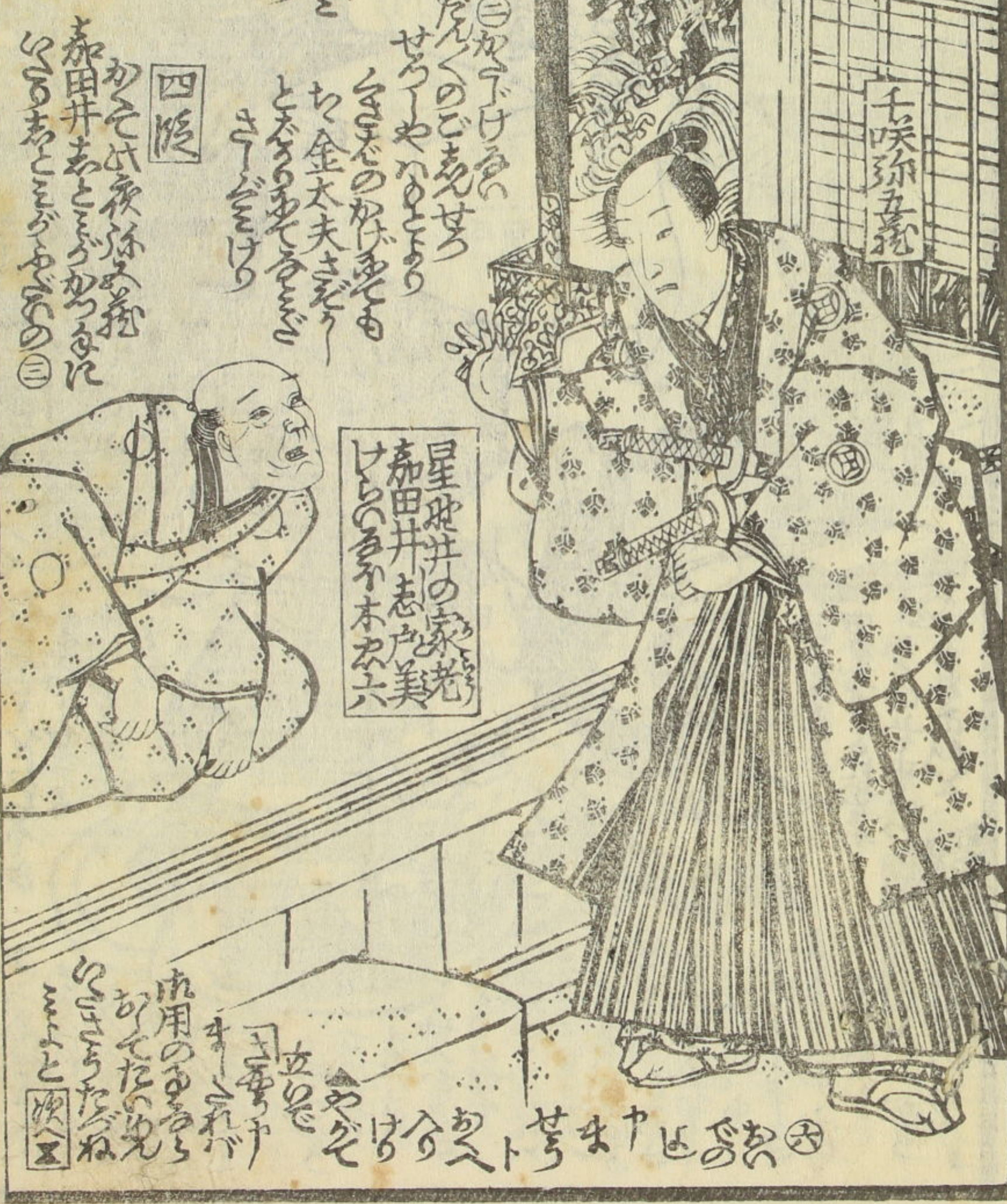


茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて



茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて
 茶室にて
 茶をたぐりて

きつり今やど
 るのてんら
 兎けんを
 けつらあられ
 それでもあられ
 まさあれ
 あえたわげ美
 今日あれ
 せうせ
 はのちあれ
 正とん
 うふの
 あつら
 かん
 うち
 金の
 どの
 せい
 せい
 せい
 せい



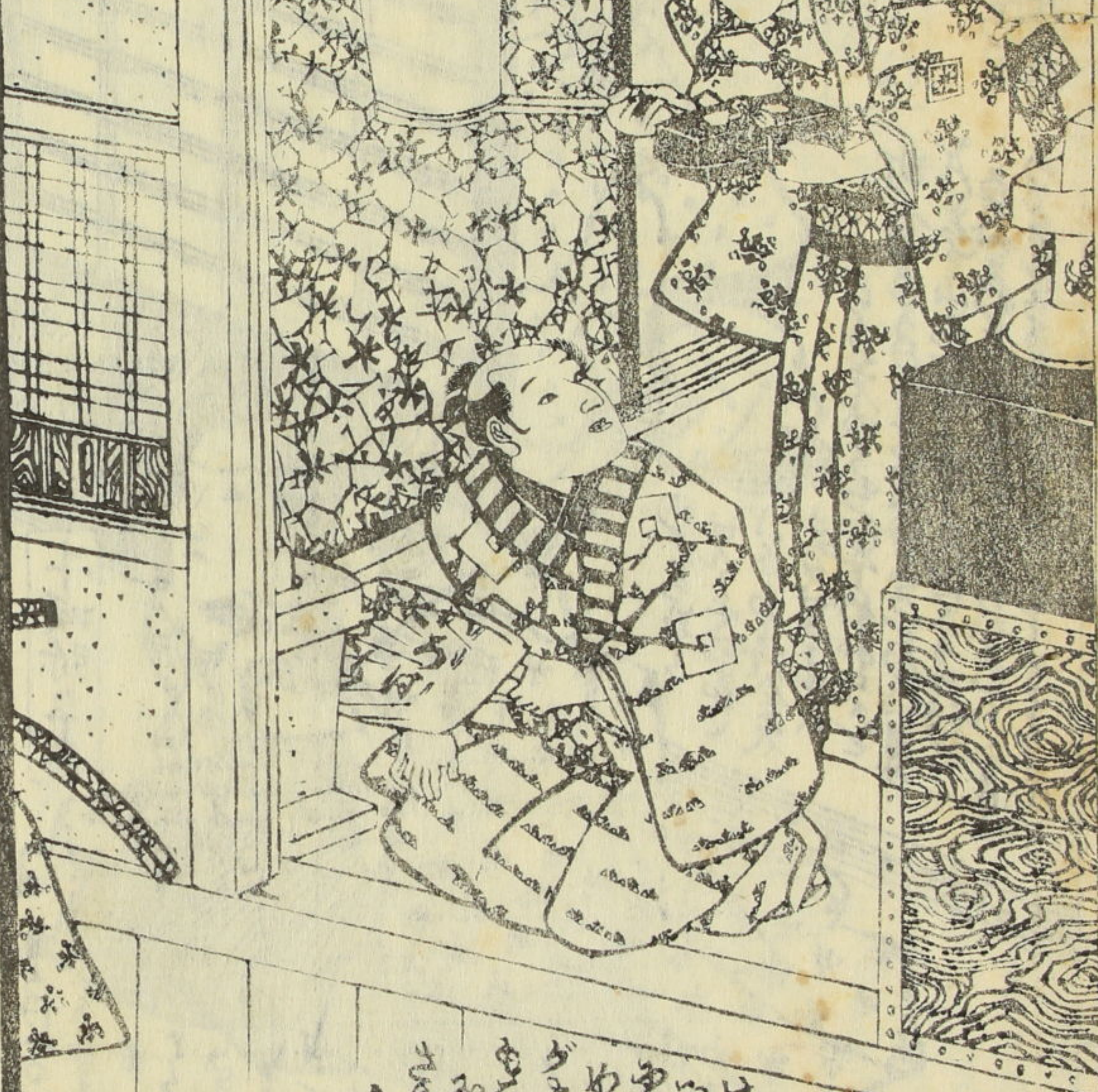
千咲五花

星地井の家老
 赤田井志戸美
 けら

四段
 赤田井志戸美
 けら

女
 赤田井志戸美
 けら

あつら
 かん
 うち
 金の
 どの
 せい
 せい
 せい
 せい



あつら
 かん
 うち
 金の
 どの
 せい
 せい
 せい
 せい

美人録十編卷上終

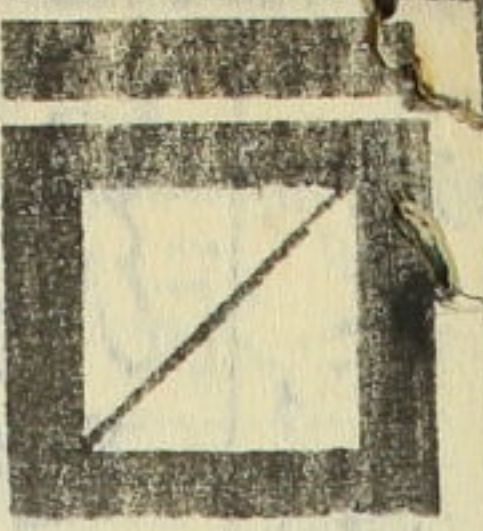
△用て多々
△十之味
△西の心
△東の心
△南の心
△北の心

△用て多々
△十之味
△西の心
△東の心
△南の心
△北の心



京山老人作

國輝画



諸合藥

江守大通守田川町西側中程

紀伊國屋九兵衛

御藥種丸散丹圓諸合藥精製吟味別而念入申候

其外可藥最上極品貯且定價廉直也

家傳救命丸 大人小兒万病急症を救ふ至其藥也

牛黄丸 大人小兒男婦もろくも急症を救ふ良藥也

胤松

胤松の御藥

胤松の御藥

中暑和飲霍乱暑あつ

加正散六務菊四季の川風

清血散りは新久若も系

一粒丸大人小児

御白体法入の掛香の草司入

昂丸一城

御量物法入の掛香の草司入

不淨除漬火鉢

雷除神丹世神丹

神丹世神丹

旅行懐中御用意影薬

御香木古加羅

塗香右六国七種組合代金壹合

根源實紫

自五編至八編 笠亭仙果作
當寅正月發光 梅蝶樓國貞画

嘉永七年甲寅孟春新刊目録

五編ハ法皇花山と出敷山と遷らせり義懐惟成二僧の上より哀と致しきり又おもひ
設ぬるあり保輔謀計を明して歳久と殺す頼光土坊退治女四天三つ六編ハ土坊
河原に晒され保輔保昌ふりて滅亡すそれより法皇の御孫の御孫の御孫の御孫の御孫
惟規中將と聖の宮の空山舎七編ハ少將のせりあるを惟規と致しきり又おもひ
此編ハ婦人の教もある多し八編ハ法皇都子帰らせり内大臣伊周公誤てりをさしきり
罪のつと法皇の一期は編にて終る九編ハ茨木童子又棄童丸の傳を法びきり
御堂殿道長公の宗花此宗式弘夫と別れ宮仕の夕十編より上東門院入内子より
宗式弘夫の又上とのつとを委しきりて実七分虚三分を尋ねる子紙とハ好異也
宮城野芳宣 花兄弟陸奥名所 右同作 國芳画
信夫里山吹 草紙團扇問屋 佐野屋喜兵衛

七組 七編 同 画 地本錦繪 草紙團扇問屋 佐野屋喜兵衛



下

園輝画



正んく下のまき

幸山翁作



園下好画 依の茶板

甲寅形 錦

琴声美人録十編下卷

これより後みせ
あつたはるありあ
はつたはるありあ
あつたはるありあ
うらな

よきもの
初巻九六にせ
たを治しせ
小見五九の
長生丸小
のけし
業中
命とたま

六段

ろふ又石へ金の
と余大夫の



心
心
心

心
心
心

金の重なるおののちのち...
さうだまけのちのち...
まのちのち...
よのちのち...
のちのち...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...



金の重なるおののちのち...
さうだまけのちのち...
まのちのち...
よのちのち...
のちのち...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...

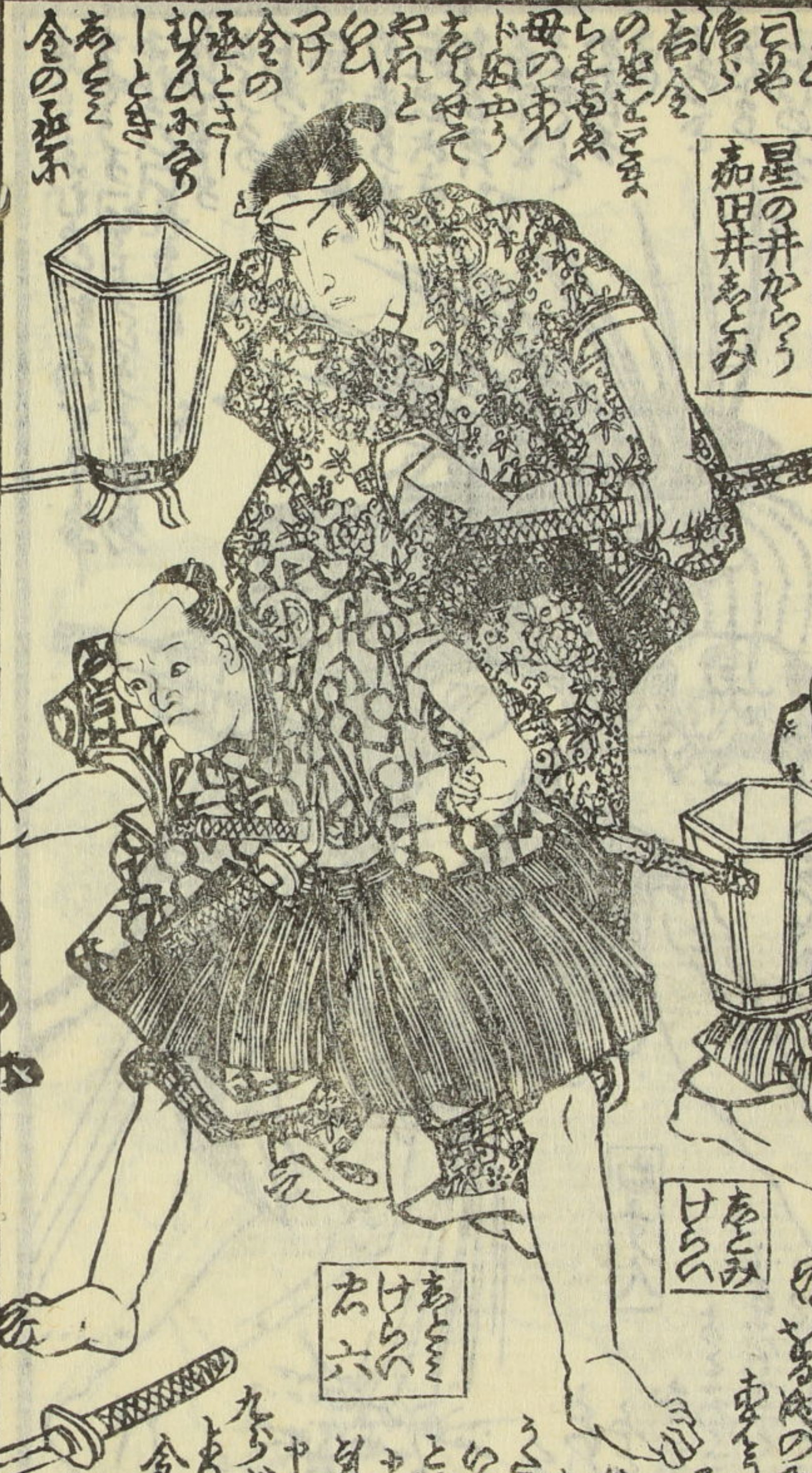
あまのちのち...
さうだまけのちのち...
まのちのち...
よのちのち...
のちのち...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...



あまのちのち...
さうだまけのちのち...
まのちのち...
よのちのち...
のちのち...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...
あはれ...

△らより金の座
小春も大市あはれ
まがらとこ下あわ
あまのりあまのり
うらむけらと

星の井からう
嘉田井あま



金の座
あまのり
うらむけら
あまのり
あまのり

あまのり
あまのり

あまのり
あまのり
あまのり

④あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり

あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり

十九の八国
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり

石金の座



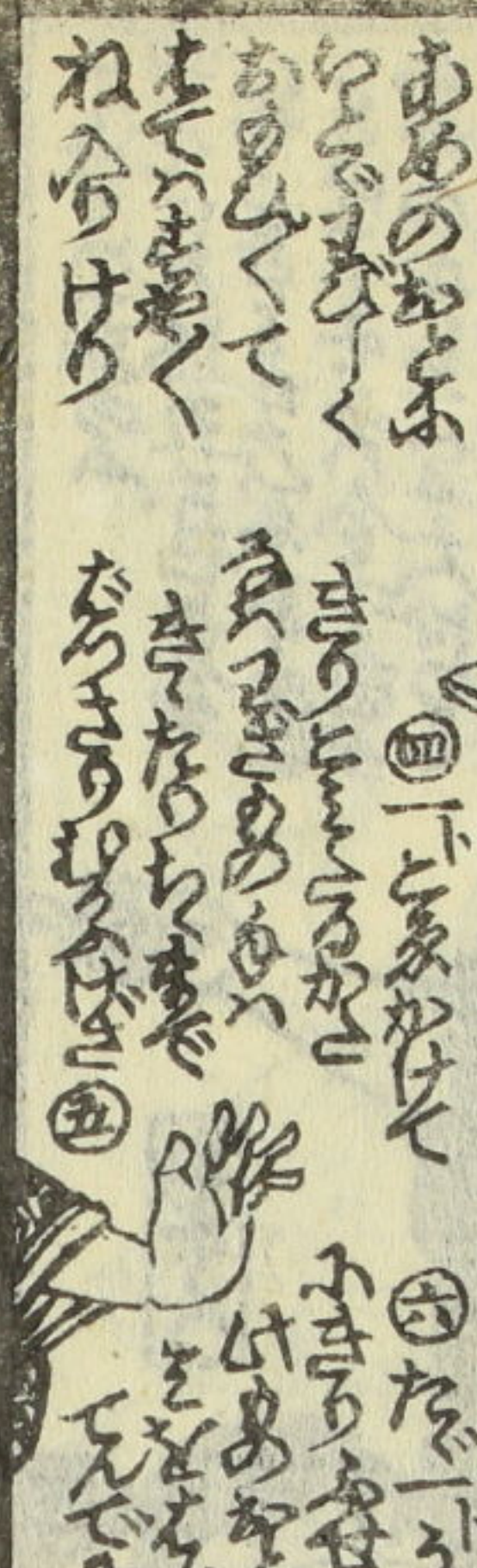
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり
あまのりあまのり

① 中よりのまのりのかみ
 みるれや。今この世の世の
 ちの九ツの世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の

② 中よりのまのりのかみ
 みるれや。今この世の世の
 ちの九ツの世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の

③ 中よりのまのりのかみ
 みるれや。今この世の世の
 ちの九ツの世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の

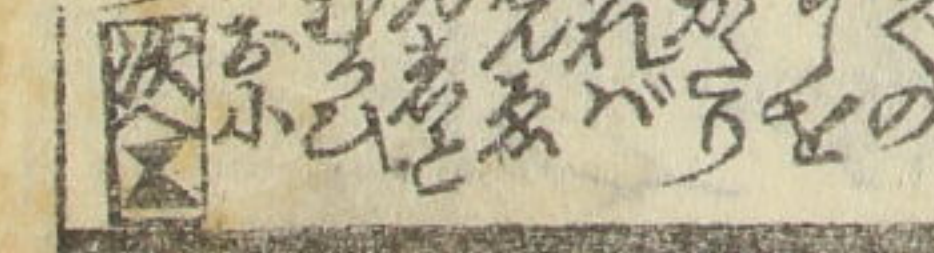
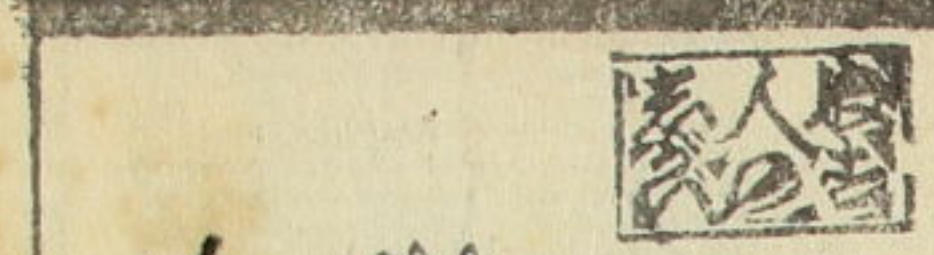
④ 中よりのまのりのかみ
 みるれや。今この世の世の
 ちの九ツの世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の



十一段
 やめて金の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の



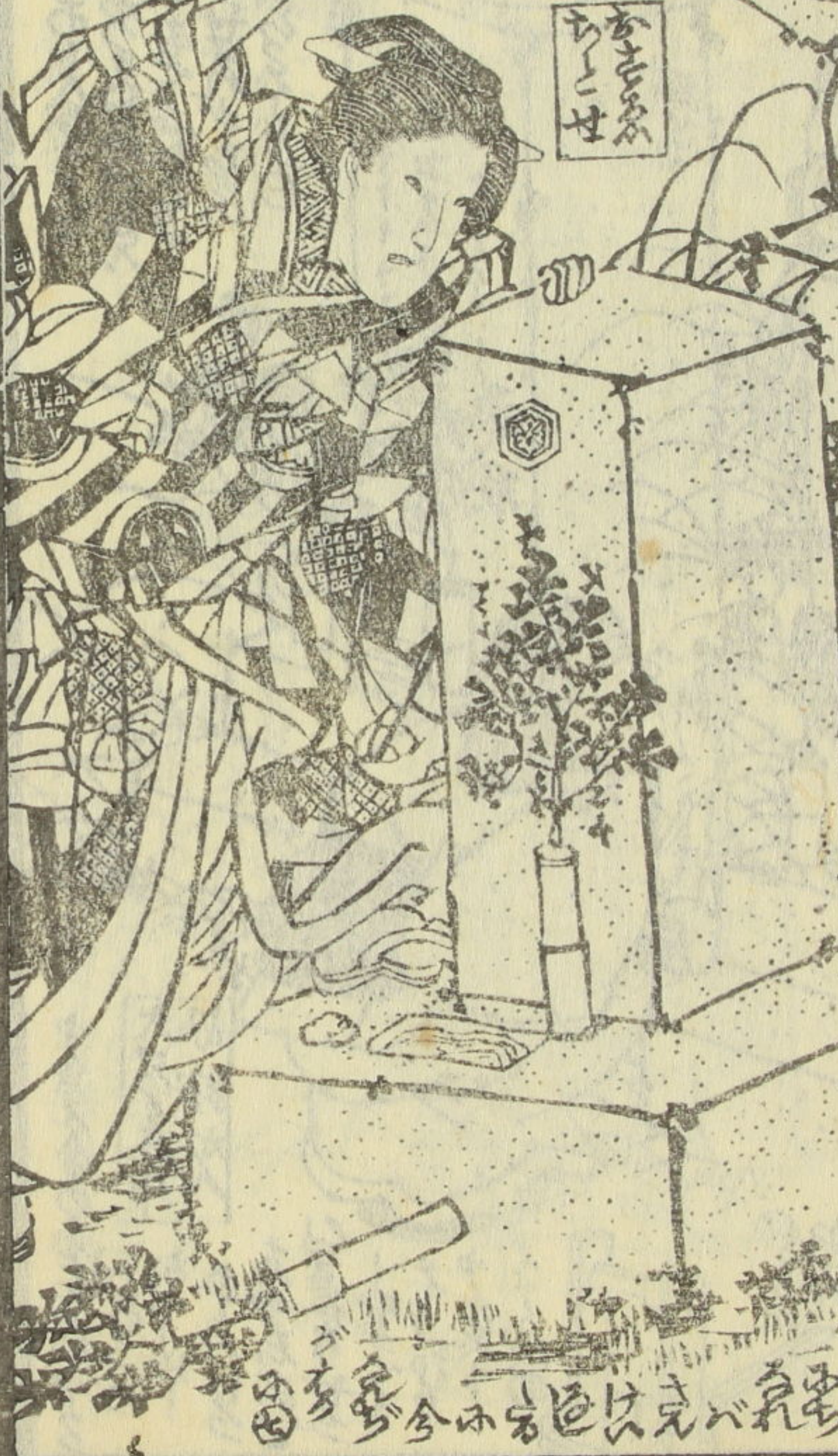
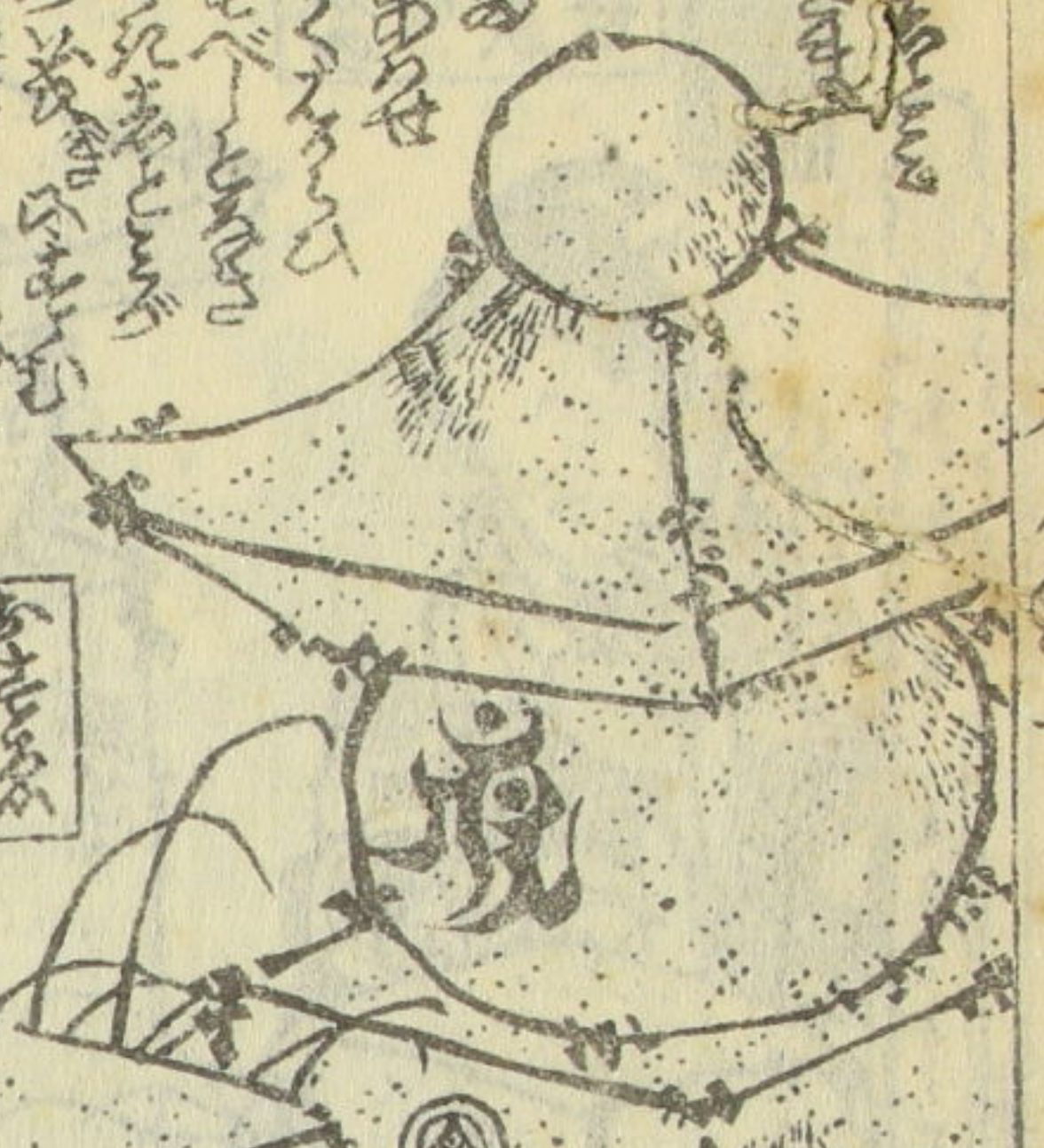
十二段
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の
 金の世の世の世の世の



十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり



のんきなあかり
 金のあかり
 さうらうのあかり
 けさのあかり
 むすめをうらみ
 あかきつねのうらみ
 かぐや姫の日のあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり



金のあかり

のんきなあかり
 金のあかり
 さうらうのあかり
 けさのあかり
 むすめをうらみ
 あかきつねのうらみ
 かぐや姫の日のあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり

十三段
 かぐや姫の日のあかり
 あかきつねのうらみ
 むすめをうらみ
 けさのあかり
 さうらうのあかり
 金のあかり
 のんきなあかり

